

御牧の郷だより 第13号

発行 御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部会 発行年月日 平成30年1月



初日の出～ではなく、正月二日の日の出です。
芸術むら公園明神池より。



中八重原区の恒例の獅子舞です。
元旦に今年一年の無病息災を祈念しながら、各家庭を回ります。



善男善女が鐘をつき煩惱を清めます。
永学寺にて。

八重原諏訪神社では、
今年も恒例の御牧太鼓の
演奏がありました。

あっ、大吉だ！



よろしく
今年一年
ワンツ



毎年二年参りには氏神様の両羽神社に、たくさんの地元の人が集まってきました。昔と比べると二年参りに来る人が少なくなっていますが、焚き火をかこんで、お神酒をいただいて、みかんをいただいて、前年一年のお礼と今年一年の無事をお願いしました。

もくじ

P.1 新年を迎えて 二年参り 獅子舞 日の出

P.2~3 北中生が語る北御牧への熱い? 想い

P.4 地域の活動から サークル紹介など

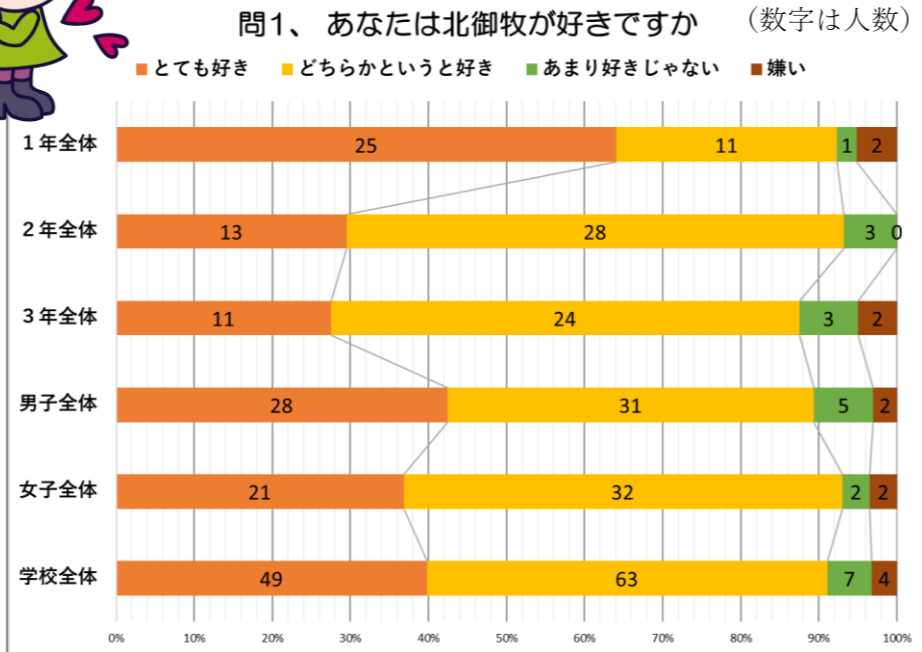
めざそう! 人口5000人をキープ!
10年後も
いちまた
10000の瞳
ひこみ

北中生が語る 北御牧への想い

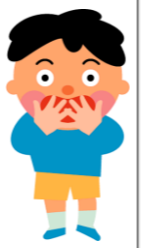
熱い？

チーム10000の瞳では、10月に北御牧中学校の全校生徒に、地域に対する想いや、地域づくりへの意識を尋ねるアンケートを行いました。子どもたちは、どの問いにも一生懸命に答えてくれました。私たちは笑ったりうなずいたり、感心したりしながらそれを読みました。すべてをお見せしたいところですが、ここではそのごく一部をご紹介します。

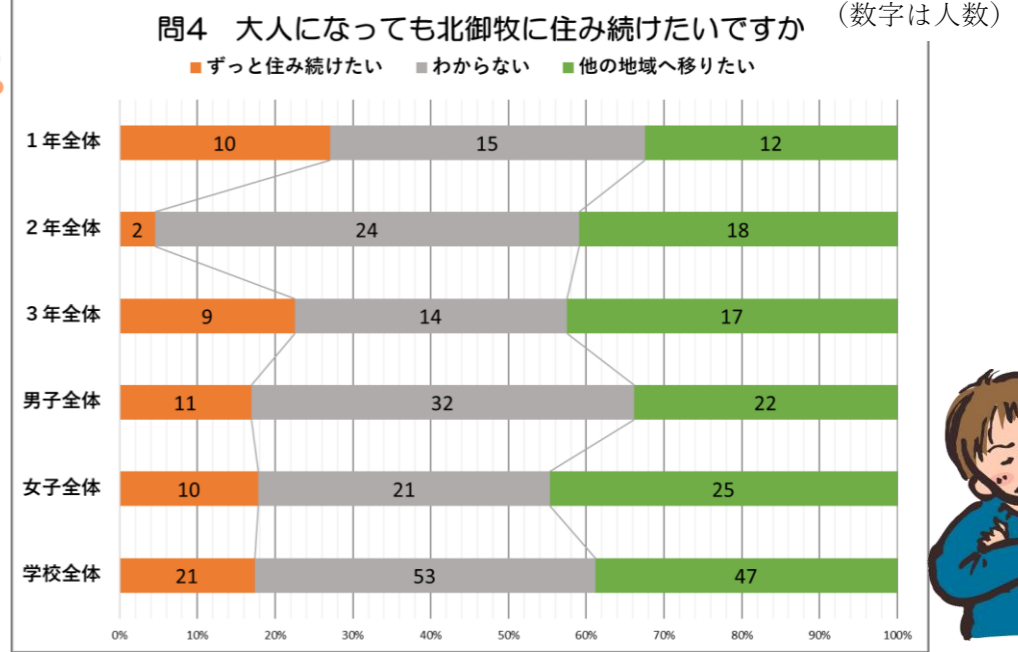
ご協力いただいた北御牧中学校に心から感謝申し上げます。



「とても好き」「どちらかという好き」を合わせてどの学年でも80%を上回っています。学校全体でも90%以上、最初の質問でこの結果が出たことに、とてもホッとしました。そして嬉しく思いました。しかし、将来のことを聞いてみると…



ところが…



「ずっと住み続けたい」人は一気に少数派になります。実際よそで暮らしたことがなければ「分からない」を選ぶのは無理がないにしても、今から「他地域で暮らしたい」と決めている人がこんなに多いとは…。子どもたちの大好きな北御牧を、今以上に「帰って来なくなる(帰って来られる)」北御牧にしなければならないと強く思いました。



問7、あなたは、北御牧がどうなったらいいと思いますか？北御牧について普段感じていること、大人たちに言いたいこと、北御牧をもっと良くするためのアイデアなどを自由に書いて下さい。(自由記述、ごく一部を抜粋)

【こんな地域だったら…】

- ・ もっと子どもたちとも楽しく過ごせるところにしてほしい(3女)
- ・ もっと人口を増やすことが出来ればいいと思う(各学年あり)
- ・ 北御牧は緑豊かで空気もきれいなので自然は守ってほしい(1女)
- ・ 東京みたいにデパート・ビルなどがたくさんあるところだったらずっと北御牧にいます。アンケートを取った人達頑張ってください(1男)
- ・ いちいち大人に買い物に連れて行ってもらうのは大変なので、コンビニなどを作ったりしないと子どもにとっては不便です(3男)
- ・ 買い物をするところを作っても、逆に人が入らないから必要ない(3男)
- ・ 道が暗い、街灯をもっと増やしてほしい(各学年多数)
- ・ 道が悪いのできれいにしてほしい。通学路が危険、幅を広げてほしい。安全を確保してほしい。山道を少なくしてほしい(各学年多数)。
- ・ 周りの空き家をなくしてほしい(3女)

- ・ もっと子供が楽しい！行きたい！って思える行事にしたほうがいい(2女) 行事を行うときはいろんなところに看板を立てて、来る人を増やし、地域の人との交流ができるようにした方がいい(3女)

【大人たちや市に言いたい】

- ・ 通学路のまわりにゴミがたくさん落ちている。タバコやゴミのポイ捨てをやめてほしい。ゴミが落ちていたら拾うこと。(各学年多数)
- ・ 学校のプールをきれいにつくり直してほしい(2女多数)
- ・ アンケートを取ったりするだけでなく、実行するべきと思う(1男)

【北御牧を元気にする具体的アイデア】

- ・ 東御市のパンフレットに有名人を使う(3女)
- ・ もっと北御牧のよさを広めるべきだと思う。地元だけで盛り上がるのではなく、もっと全国的に広げていけるよう努力すべき(3女)

- ・ 御牧原と八重原をつなぐ大きな橋を作る。そうすればバンジージャンプをすることが出来て、観光客を呼び込む事が出来ます(2女)
- ・ せっかくお米や野菜がおいしいので、もっと大きくPRすることや、売り出せる機会があるといいと思います(3女)
- ・ 東御市のいいところ(野菜や果物)をPRして、動画を作り、YouTubeなどに投稿すればいいと思う(3男)
- ・ インターネットとか使って大々的に呼びかける。そうすれば県外から来る人が増えるから。最近、芸術家の人たちの作品を展示してるから、そういうのを使っていけばいいと思う(3女)
- ・ 外国の方でも住みやすい環境を作っていくべきだと思う(3女)

子どもらしい夢のある1年生の意見から、3年生の現実的、建設的な意見まで、ふるさと北御牧を想うたくさんの意見やアイデアが寄せられました。頼りになる北中生たちです。すべてをご紹介できないのが本当に残念です。

アンケートの質問は以下の7項目でした。
 問1、あなたは北御牧が好きですか(4択)
 問2、御牧の好きなおところ、いいと思うところはどこですか(4択+自由記述)
 問3、北御牧のいやなおところ、良くないと思うところはどこですか(自由記述)
 問4、あなたは、大人になっても北御牧に住み続けたいですか。進学等で一時的に離れ、将来戻ってくる場合も含む。(3択)
 問5、問4で「北御牧以外の地域へ移りたい」と答えたのはなぜですか(6択+自由記述)

問7、現在の北御牧の状況についてあなたが感じていることに近いのはどれですか(それぞれ5択)
 (ア) 困った時に助け合え、協力したり、気軽に近所づきあいができる地域である
 (イ) 祭りやスポーツなどの催しに気軽に参加できる地域である
 (ウ) 地域の課題を自分たちで積極的に解決しようとしている地域である
 問8、あなたは、北御牧がどうなったら(どうだったら)いいと思いますか？その他、あなたが北御牧について普段感じていること、大人たちに言いたいこと、北御牧を今よりもっと良くするためのアイデアなどを自由に書いて下さい。(自由記述)

やってよかった！中学生アンケート

アンケートを作るとき「自由記述を多くしても書いてくれないのでは？」という議論がありました。しかし今は「多くして良かった」と思っています。奇抜な意見も含め、ビジョン実現に向け参考になる意見がありましたし、何とんでも「北御牧大好き」な子どもがこんなにいることに勇気もらったからです。このアンケートが、中学生の皆さんにとってふるさと北御牧を考えるきっかけになってくれたら嬉しいです。またこの中から一つでも、一つずつでも実現させていきたいと思っています。全てのアンケート結果をご覧になりたい方はチーム隊長 笹平 0268-67-3626 携帯：090-4158-6592、または支所へお尋ねください。



「どすこいみまき部屋金太郎体操」と「とうみ（十味＝東御）汁」

みまき福祉会から、昨年11月にNHKで紹介されたご当地体操「どすこいみまき部屋金太郎体操」を紹介させていただきます。

平成7年4月に開所したケアポートみまきは当初よりプール施設、多目的ホール、トレーニング施設を併せ持つ高齢者福祉施設として運営してまいりました。その特徴を活かし運動を通じた健康づくりに力を注いできました。

プールやトレーニングセンター利用の子どもから高齢者まで多くのみなさまの健康増進施設としてご利用いただいています。

また福祉サービスをご利用するみなさまは健康に対して非常に強い関心をお持ちです。運動を通じた健康づくりとして、わかりやすく親しみのある音楽、楽しみである相撲の動作を付けた体操が、「どすこいみまき部屋金太郎体操」です。

デイサービスきたみまきにて、この体操を大相撲が行われている時期、午後の体操でやっています。見学されたい方は、直接お越しください。なお、定期的に運動をしたいが移動手段に困っているという方、送迎付きの運動教室（火～木の午前中）を開催しています。ぜひ、ご利用ください。



みまき福祉会 健康運動指導士 笹本和宏

ケアポートみまきでは、運動だけでなく食事にも関心を持ってもらおうと、とうみ汁を考案しました。東御と十の味をかけた命名です。材料は、きのこを入れる、たんぱく質食品を入れる、みそ味、まごころこめて作る、きせつの野菜を入れる、頭文字は「き・た・み・ま・き」これがとうみ汁の定義です。一人暮らしの家庭が増えているこの頃、一品に必要な栄養が

取れ、ご飯があれば一食になるメニューはないものかと介護予防事業で開催している健康大学のみなさまと考えました。東御にかけて10品の食材を使います。それぞれの食材の味の相乗効果でうまみのある味わい深い汁ができました。

季節により、ご家庭でもお楽しみください。



みまき福祉会 管理栄養士 塩入貴美江



サークル紹介 芸術むら公園を愛する会



サークルデータ

名称：芸術むら公園を愛する会
 会員数：12名
 会長：柳沢幹夫
 事務局：西澤唯治
 お問い合わせ先：
 0268-67-2303（柳沢）
 0268-67-1285（西澤）

「チーム10000の瞳」（北御牧ビジョン推進委員会）では、各地区やサークルなどの集まりに出向きビジョンの説明などお話しさせていただきます。

ご希望の方は下記までご連絡ください。
 北御牧庁舎 0268-67-3311
 青木正良

自然と芸術文化を目指した芸術むら公園は、県外からも多くの方が訪れる公園です。ここでは、市営の公園として維持管理がなされていますが、近くに居住する住民として恩返しの気持ちで、いつまでも美しい公園づくりのお手伝いをしようと八重原地域の有志に呼び掛け、平成23年3月に15名で「芸術むら公園を愛する会」を立ち上げました。主な活動は、周辺環境の美化、公園事業の支援、環境維持の研究です。

今までに取り組んできた事業は、①公園管理棟前の花だんの植栽、②公園線沿いの玉造菊の植栽、③つつじが丘の水仙園の維持管理④ハナモモ、ハナミズキの植樹などです。その他、視察や研究も行っています。

今後の課題として、会員の増員をはかること、松枯れ対策として松に代わる樹木の研究、地域の人口減少対策として芸術むら公園を活用した都市と農村の交流を考えています。具体的には、「天空の芸術祭」と連携した遊歩道などの設置やグリーンツーリズムの実施、人口増加につながる新規就農者の受け入れ、特産品のPR活動を目指しています。

芸術むら公園を愛する会 会長 柳沢幹夫

北御牧データバンク (12月31日現在)

総人口 4897人(-9)
10000の瞳まで103人!
 男 2415人(-4)
 女 2482人(-5)

()内は10月31日との増減

お詫び

前号(12号)にて天空の芸術祭事務局の記事を掲載いたしました。一部に誤解を招きかねない表現がありました。この場をお借りしてお詫びいたします。

広報部部长 宮秋智子

編集後記:平成30年がスタートしました!今号の特集では、北中生の声をお届けしました。子どもたちの心に残る北御牧を作る責任を感じました。子どもが楽しい北御牧は大人にとっても楽しいはず。実り多き一年になりますように。(T.M)